

日時：2003年5月25日（日）13：45～15：00

出席者：大竹惟司、関武矩、内田研吾、内田恵美子、大西信一、関敦子、大西礼子

議事：

- ① 韓国からの合唱団（46人、9割がたクリスチャン、聖公会信者は7～8人。大久保駅で亡くなった韓国人の慰霊コンサートのため来日）が、8月3日（日）に当チャペルの礼拝に出席し、アンセムを歌い、礼拝後チャペルでコンサートを開きたいとの要望が、立教大学チャプレン経由で井原司祭に伝えられた。井原司祭は了承（コンサートは20分程度に）し、大西信一が韓国側窓口と電子メールにて話を進めている。デューティの日ではないが、礼拝に出席し、コンサートを聴くよう、隊員に呼びかける。隊員の出席が多ければ、当方でも1曲位歌うかもしれない。また、韓国人信徒の多いホーリネス教会（玉木氏所属）にも情報を伝える。
- ② 特別練習に関して
練習の参加者が固定していること、今年の合宿には当日参加者も多いことから、従来の練習に加え、特別練習を企画する。6月22日（日）と7月27日（日）のデューティの日、通常の練習に代えて、昼食を個人で取った（研修室Cを12時から用意）後、13時から15時まで、研修室Cにおいて特別練習を行なう。
- ③ 合宿に関して
 - 1) 日程は、8月21日（木）～25日（月）。21日は準備日。22日（金）早祷から25日（月）の朝食後までを合宿とする。24日（日）昼食は打ち上げ懇親パーティ。
 - 2) 準備は、しおり・部屋割等：内田研吾、内田恵美子 その他：大西信一で進め、合宿時健康管理：大竹ひろ子 とする。恵みシャレーは10人部屋を2室予約済。参加確認は7月に入ってすぐ内田恵美子が行なう。井原司祭が参加される。
 - 3) 井原司祭の講話（金曜）は、隊員から希望テーマを集め、その中から願う。隊長の講話（土曜）の時間も取る。
 - 4) 金曜夜の練習・土曜夜のゲネプロには、昨年同様、ショー記念礼拝堂の使用許可を村岡司祭に願う。
 - 5) （大西信一）合宿参加費を昨年の場合、参加日数にかかわらず、一律で徴収したが、それでいいのか。⇒（内田研吾）参加費の実態はコック2名のアルバイト料にあてられるので、必要な金額である。会計としては、合宿の円滑な運営のため、不参加者からの徴収を考えたい位のものなので、構わないと考える。より理解を得るため、参加費ではなく、運営費という名称に改める。
 - 6) コンサートで会衆と歌う曲の選定がまだであるが、村岡先生の希望も伺う。
 - 7) 合宿のコックは、山田満津江さんには依頼済。稲垣基子さんには今年も可能か尋ね、ダメな場合は大西礼子が探す。
- ④ その他
 - 1) レクイエム奉唱の開始時間を早められないか、井原司祭に相談する。（理由：レクイエム終了後に、隊員・フェスティバルクワイヤー・聴衆参加のお茶会を企画したい。今年は11月2日が日曜日なので、時間を早めても歌い手は参加可能である。）
 - 2) デューティの礼拝に無断欠席者が目立つ。近しい人から声を掛け合うようにする。

（以上 記録 大西礼子）